

## ヨコハマ 3 R 夢プランの推進について

### 1 ごみと資源の総量

#### (1) 平成 24 年度の実績（推計値）について

平成 24 年度は基準年度である平成 21 年度に比べ 2.25% 以上削減を目標としていました。

平成 24 年度のごみと資源の総量を推計すると約 127 万 2 千トンで、平成 21 年度に比べ約 4 千トン減少（▲0.3%）しました。

内訳として、家庭系の総量は約 91 万 3 千トンで、約 2 万トン減少（▲2.2%）し、事業系の総量は約 35 万 9 千トンで、約 1 万 6 千トン増加（4.7%）しました。

表 1 平成24年度のごみと資源の総量（推計値）

【単位：トン】

	ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系		
		ごみ量	資源化量※ <sup>1</sup>		ごみ量	資源化量※ <sup>2</sup>	
24年度	1,271,570	912,710	601,930	310,780	358,860	315,590	43,270
21年度差	▲ 3,874	▲ 20,123	▲ 9,369	▲ 10,753	16,249	▲ 2,839	19,087
	(▲0.3%)	(▲2.2%)	(▲1.5%)	(▲3.3%)	(4.7%)	(▲0.9%)	(78.9%)
21年度 (基準年度)	1,275,444	932,833	611,299	321,533	342,611	318,429	24,183

※<sup>1</sup> 家庭系の資源化量は、行政が回収した資源化量と資源集団回収量の合計です。

※<sup>2</sup> 事業系の資源化量は、学校給食残さの資源化量と事業者が生ごみやせん定枝を資源化した量の合計です。

※ ( ) 内数値は、21年度との比を示しています。

※ 平成24年度（推計値）は、10トン未満四捨五入しています。

#### (2) 平成 25 年度の目標について

平成 25 年度は、横浜市中期 4 か年計画の最終年度であり、「ヨコハマ 3 R 夢プラン」の中間目標年度であることから、これらの計画に掲げた「平成 21 年度比 3% 以上削減」を目指します。

## 2 ごみ処理に伴い排出される温室効果ガス排出量

### (1) 平成 24 年度の実績（推計値）について

平成 24 年度は、基準年度である平成 21 年度に比べ 18%以上削減を目標としていました。

なお、計画目標は、「平成 25 年度に平成 21 年度比 10%以上削減」ですが、平成 22 年度に 18%以上削減した実績がありますので、この目標を設定したものです。

平成 24 年度の排出量を推計すると約 24 万 4 千トンで、平成 21 年度に比べ約 3 万 8 千トン減少（▲13.5%）しました。

表 2 平成24年度温室効果ガス排出量（推計値）

【単位：万トン(CO2換算)】

		温室効果ガス排出量
24年度		24.4
	21年度差	▲ 3.8 (▲13.5%)
21年度（基準年度）		28.2

### (2) 平成 25 年度の目標について

平成 25 年度は、「ヨコハマ 3 R 夢プラン」の中間目標年度であり、前年度に引き続き「平成 21 年度比 18%以上削減」に、チャレンジします。

## 3 平成 25 年度の実行方針

平成 25 年度は、「3 R 夢ステップアップの年」として、市民・事業者の皆様に徐々に広がっている 3 R 行動を、更に浸透させていくことで、目標達成を目指します。

- (1) 「分別・リサイクルの更なる徹底」を行います。
- (2) 「生ごみの減量化・食品廃棄物の削減」を推進します。
- (3) 「地域特性や対象者に合わせた啓発」を実施します。
- (4) 「職員が率先して 3 R 行動」に取り組みます。



G30につづく新たなプラン



横浜市長 林 文子

横浜市では、G30プランにつづく「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」を策定しました。今回の計画では、分別・リサイクルだけでなく、ごみそのものを減らすリデュース(発生抑制)の取組を積極的に進めることで、ごみ処理に伴う環境負荷の更なる低減を図り、豊かな環境を後世に引き継ぐことを目指します。

市民・事業者の皆さまとともに、子供たちが将来に「夢」を持つことのできる社会の実現に取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

スリム  
ヨコハマ3R夢プラン

G30のその先へ

ヨコハマ3R夢!

スリム

# ①これまでのG30は

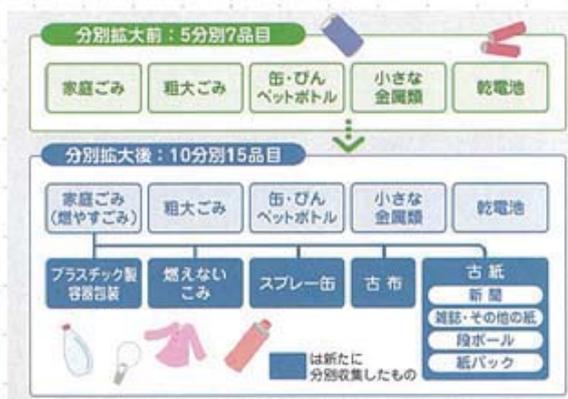
平成22年度までに、**ごみ量▲30%削減**(対13年度比)を目標に、  
市民・事業者の皆さまとの協働のもと、**分別・リサイクル**を進めてきました。

## 大きなごみ減量の成果

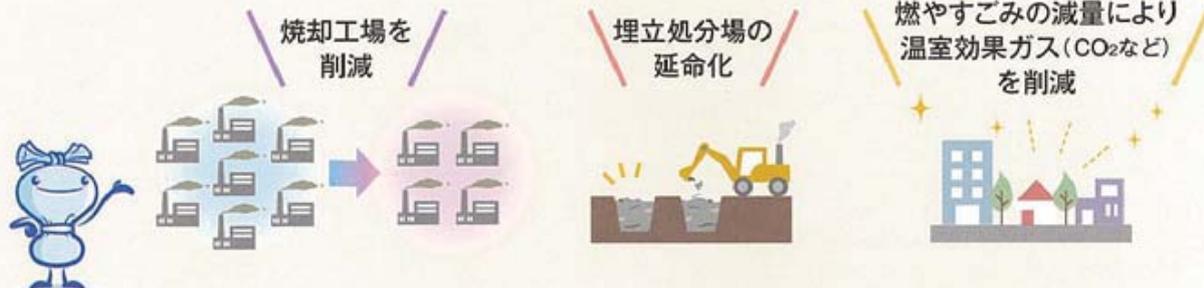
平成17年度に、5年前倒して

**▲30%削減**を達成

平成21年度には**▲42.2%削減**



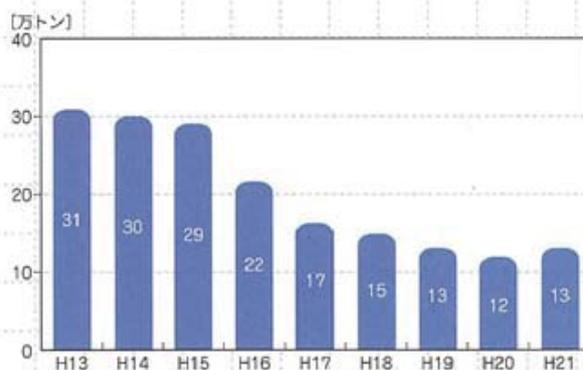
## さらにその結果



【ごみ量、人口の推移】



【一般廃棄物埋立量の推移】



人口が増えている中で、  
ごみの量を  
こんなに減らすことが  
できました。



埋立量を着実に  
減っています。

これから

ごみとなったものは、焼却処理・埋立処分をしなければならず、今後、埋め立てできる場所は1か所しかありません。

**だからこそ！** ごみを減らすことで、埋立処分場を長く大切に使う必要があります。

ごみを処理することによって、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスが発生します。

**だからこそ！** ごみを減らすことで、脱温暖化を進めていく必要があります。

## ② 新たな計画では

2010 2025  
計画期間…平成22年度～平成37年度

G30を<sup>しんぞく</sup>基礎に、**分別・リサイクル**はもちろんのこと、**ごみのリデュース**(発生抑制)に取り組み、**温暖化対策・CO<sub>2</sub>削減**を進めます。また、ごみ処理の**安心と安全・安定**を追求し、ごみのことで困らない住みよいまちの実現を目指します。

1

### もっとチャレンジ・ザ・3R

リデュース  
リユース  
リサイクル

総排出量(ごみと資源の総量)を平成37年度までに**10%以上削減**(平成21年度比)します。

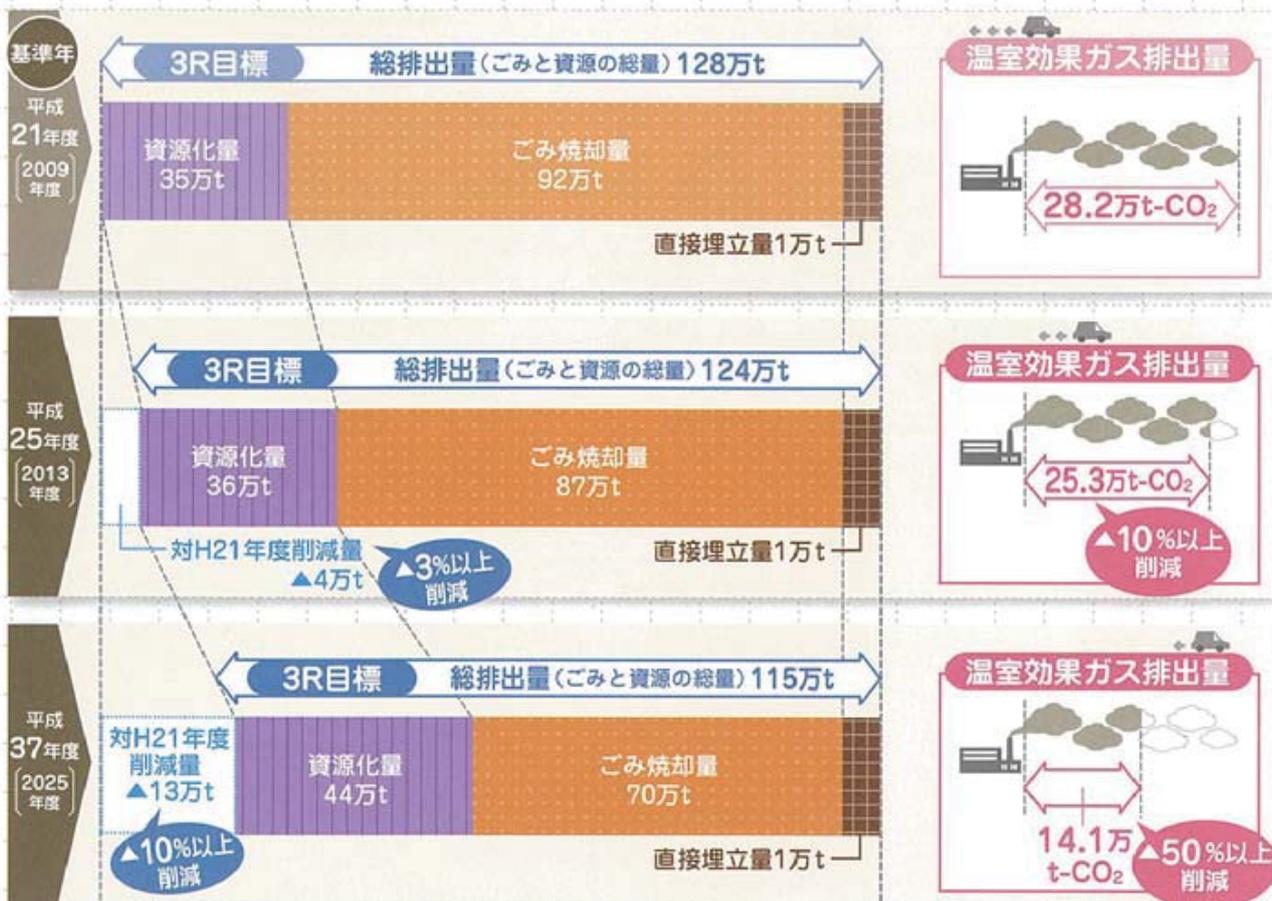
平成25年度までには**3%以上削減**

2

### ごみ減量から始めよう脱温暖化

ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスを平成37年度までに**50%以上削減**(平成21年度比)します。

平成25年度までには**10%以上削減**



※ごみ処理ならではの温暖化防止対策に取り組むために、地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画制度の算定方式に、ごみ発電による削減効果を加えて、本計画の温室効果ガス削減目標を設定しました。

3

### ごみ処理の安心と安全・安定を追求

収集・運搬、処理・処分のすべての段階で、安心と安全・安定を追求します。



これからも、きちんと分別。そして、ごみそのものを減らすリデュースに楽しくチャレンジ。みんながごみを減らせばCO<sub>2</sub>だって減らせます。

### ③ 基本理念など

#### 基本理念

市民・事業者・行政が更なる協働のもと、3Rを推進するとともに、なお残るごみを適正に処理することで、限りある資源・エネルギーの有効活用と確保に努め、環境モデル都市として、環境負荷の低減と健全な財政運営が両立した持続可能なまちを目指します。



#### 横浜の未来 (廃棄物行政における将来ビジョン)

- ★みんなが協力し合い、誰もが3R行動を実践する環境配慮型のライフスタイル・ビジネススタイルが定着している。
- ★より環境負荷の少ないごみ処理システムが構築されている。
- ★清潔できれいなまちが実現している。
- ★すべての市民がごみのことで困らない住みよいまちが実現している。

#### 基本理念を支える5つの基本方向

三者が取り組む  
3R行動

安全で安定した  
処理・処分

よりよい  
生活環境の  
確保

市民の  
視点に立った  
サービスの向上

コスト意識と  
適正負担

#### 市民・事業者・行政の役割

- ★環境にやさしいライフスタイルの実践
- ★ごみ・環境問題に対する関心と行動の呼び起こし
- ★ごみの適正処理
- ★環境負荷の低減とコスト削減の推進



- ★環境にやさしい製品等の生産・販売
- ★より環境負荷の低いサービスの提供

それぞれが  
役割を果たして  
美しい地球を守るために  
協力していこう

# もっと・チャレンジ・ザ・3R

3Rとは。。。

- R**デュース(発生抑制)……ごみそのものを減らす
- R**ユース(再利用)……何回も繰り返し使う
- R**サイクル(再生利用)……分別して再び資源として利用する

今までと何が違うの？



リサイクルをするのにもエネルギーが必要です。

だから

ごみそのものを発生させない、リデュース(発生抑制)の取組に皆さまと共にチャレンジします。

総排出量(ごみと資源の総量)の削減目標



ごみを減らすために何をしたらいいの？

横浜らしく、かっこよく、「もったいない」を楽しもう。

## 市民

- ★ 分別の徹底  
古紙 プラスチック製容器包装
- ★ 余分なレジ袋や過剰包装を断る
- ★ My(マイ)の実践  
マイバッグ マイボトル マイ箸
- ★ 食べ残しをしない
- ★ 生ごみの水切り

## 事業者

- ★ 分別の徹底  
古紙 プラスチック類
- ★ 簡易包装
- ★ 容器の薄肉化
- ★ リターナブル容器の使用
- ★ 長持ちする製品の開発・製造
- ★ 食品廃棄物のリサイクル



リデュース  
ヨコハマRひろば  
への参加

ホームページ

フリーマーケット・イベント情報

メールマガジン

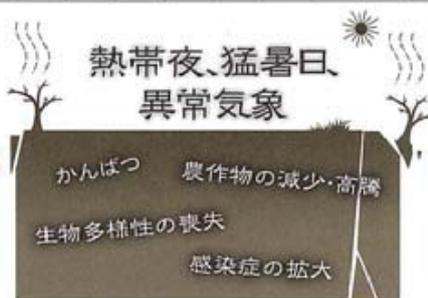
リデュース  
ヨコハマR委員会

# ごみ減量から始めよう 脱温暖化

なぜ、  
温暖化対策に  
取り組むのか？



地球温暖化が加速



本市では、環境モデル都市として脱温暖化の取組を推進しています。

廃棄物分野においても脱温暖化の取組が重要であることから、  
温室効果ガスの削減目標を設定しました。

温室効果ガスの削減目標



どうしたら  
温室効果ガスを  
減らせるの？

## ごみのリデュース(発生抑制) 更なる分別の徹底

- 余分なレジ袋を断る
- ペットボトル、プラスチック製容器包装をしっかり分別
- マイボトルを持つ
- 服を長く大切に着る
- フリーマーケットを利用する

プラスチックのごみを減らす  
プラスチック製容器包装・  
プラスチック製品

合成繊維のごみを減らす  
ナイロン・ポリエステルなど

## 効率的な ごみ発電

- 食べ残しをしない
- 生ごみの水切り

水分が減ると  
ごみが燃えやすくなるよ



ごみに含まれる  
水分を減らす



マイボトル  
スポットのロゴ

マイボトルへの  
飲料提供をしてくれる  
お店だよ！



## ⑤ 基本計画で取り組む具体的施策



横浜市中期4か年計画の計画期間内  
(平成22~25年度)に実施する主な取組です。

### 4か年の取組から 注目事業をピックアップ

#### 1 環境学習・普及啓発

- ★ごみ・環境情報の積極的な提供
- ★地域に密着した情報発信等
- ★環境行動を実践する人づくり

- 転入者・外国人・高齢者等への情報提供
- 事務所・工場の出前講座の拡充
- 地域人材を中心とした新たな推進体制の確立

#### 2 リデュース (発生抑制) の推進

- ★市民・事業者・行政の協働によるリデュースの推進

- 「ヨコハマR(リデュース)ひろば」の設置と運営

詳しくはここをチェック! ヨコハマ   
<http://www.r-hiroba.jp/>

#### 3 家庭系 ごみ対策

- ★市民ニーズに対応したきめ細やかなサービスの提供
- ★地域コミュニティの支援
- ★新たなリサイクル
- ★家庭系ごみの減量・リサイクル
- ★資源物の中間処理施設の整備・運営
- ★家庭系ごみの適正処理
- ★国等への働きかけ

- ふれあい収集等の推進
- 市民の相談・啓発窓口としての事務所機能の充実・強化  
➡ 集積場所改善相談窓口オープン
- 集積場所改善の取組強化  
➡ 集積場所快善(改善)隊 発足
- 新たな生ごみリサイクル  
➡ 生ごみバイオガス化実証実験
- 分別の更なる徹底

#### 4 事業系 ごみ対策

- ★事業系ごみの減量・リサイクル
- ★事業系ごみの適正処理
- ★環境行動を実践する事業者との連携
- ★リサイクル事業者等の育成

- 食品廃棄物のリデュース・リサイクルの促進
- 優良事業者表彰
- 焼却工場での搬入物検査や事業所への立入調査による分別指導の徹底

#### 5 ごみの 処理・処分

- ★安全で安定した処理・処分
- ★ごみ処理における環境負荷の低減
- ★運営の効率化
- ★3Rや適正処理の推進に係る各種調査・研究

- 都筑工場の耐震補強工事
- 南本牧最終処分場(第5ブロック)の整備
- 焼却灰の有効利用
- 省エネルギー化の推進

#### 6 きれいな まちづくり

- ★地域と連携したきれいなまちづくり

- 地域の実情に合った自主的な美化活動の支援
- 不法投棄多発地域の監視強化

新しい  
仲間が  
登場！

新プランの目標である、ごみと資源の総量▲10%以上削減と  
温室効果ガス▲50%以上削減の「10」、「50」から、  
「1=イ」・「5=(五つの)イ」と「0=オ」の組み合わせで「イーオ」だよ！  
ミーオと一緒に3RをPRしていくよ。

よろしくね！

「ヨコハマ3R夢(スリム)」  
マスコットイーオ



へら星人 ミーオ

横浜市資源循環局のホームページに計画全文を掲載しています。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/>から **資源循環局** へ

Q

G30はもう  
終わりなの？

A

いいえ、  
終わりではありません。

G30の取組を礎に、  
市民・事業者の皆さまと  
協働して、更なるごみの  
減量・リサイクルに  
取り組んでいきます。



横浜市資源循環局資源政策課

平成23年1月発行

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

☎045-671-2503 ☎045-641-1807 ✉sj-seisaku@city.yokohama.jp



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷物の紙へ  
リサイクルできます。